

本ニュースリリースは、独立行政法人都市再生機構、愛知県、愛知県春日井市、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学、名古屋鉄道株式会社、大日本印刷株式会社、一般財団法人計量計画研究所、株式会社未来シェア、高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社の共同発表です。重複して配信される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

News Release

2023 年 12 月 22 日

MaaS で気軽におでかけできるまちに向けて実証実験開始！ — スマホタッチでバス乗降やクーポン取得等新機能を追加したモビリティポートの活用 —

独立行政法人都市再生機構（以下：UR）、愛知県春日井市、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学（以下：名古屋大学）、名古屋鉄道株式会社、大日本印刷株式会社（以下：DNP）、一般財団法人計量計画研究所（以下：IBS）、株式会社未来シェア、高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社（以下：高蔵寺センター）が参画する高蔵寺スマートシティ推進検討会（代表幹事：一般財団法人計量計画研究所）は、昨年度に続き、高蔵寺ニュータウン内の移動利用促進の実証実験を 2024 年 1 月 9 日（火）～2 月 9 日（金）に実施します。

この社会実験は、国土交通省総合政策局「日本版 MaaS (Mobility as a Service) 推進・支援事業」及び愛知県政策企画局「愛知県スマートシティモデル事業」の採択のもと行い、内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第 3 期／スマートモビリティプラットフォームの構築」とも連携を図る予定です。DNP が提供する「モビリティポート」*1 と名古屋鉄道が提供する MaaS アプリの機能「CentX web チケット」*2 を組み合わせて活用し、スマートフォンのタッチ認証によるバス乗降やデジタルサイネージによるモビリティサービスの情報提供などを行うことで、「気軽におでかけできるまち」の実現を目指します。



MaaS アプリ「move!かすがいタッチ」(左)、2022 年度にアピタ館東口に設置したモビリティポート(右)

【本実証実験の背景と概要】

高蔵寺ニュータウンは 1968 年の入居開始から半世紀以上が経過し、住民の高齢化も進んでいます。自家用車に頼れない高齢者も増え、自宅から主要施設が集まるセンター地区や総合病院に移動する手段が限られるなど、交通課題が表面化してきました。そこで春日井市は、名古屋大学未来社会創造機構と連携して「高蔵寺ニューモビリティタウン構想事業」を掲げ、自宅から地区内のバス停・商業施設・集会所等への移動を支える「自動運転送迎サービス」の実装などを進めてきました。

この事業に DNP と名古屋鉄道が加わり、2022 年度は MaaS アプリの機能「CentX web チケット」と「モビリティポート」の実証実験を行いました。今年度は新たに「モビリティポート」で電動車いす貸出機能を提供するとともに、「CentX」と「モビリティポート」の連動によるバス乗降の実証実験を実施します。また、

「モビリティポート」利用時の画面に商業施設利用クーポンを表示し、「CentX」で受け取れるようにすることで、商業施設への来店を促進します。

1. 実証実験の実施期間：2024年1月9日(火)～2月9日(金)

＊土・日・祝はオンデマンド乗合タクシーの運行はありません。

2. 実証実験の主な内容

(1)タッチ認証によるバス乗降車

○**概要**：「CentX web チケット」で販売するデジタルチケットは、バス乗務員がスマートフォン画面を目視で確認していました。本実証実験ではバス車内に設置した専用タグにスマートフォンをタッチすることで、有効なデジタルチケットかどうかを判別します。また、乗車・降車時の位置と日時データを記録することで、利用者の乗降バス停の判別と移動データの取得が可能かどうかを検証します。さらに、バス乗車時に、利用者に商業施設のデジタルチケットを発行するので、地域活性化につながる回遊施策としての効果も検証していきます。

○**利用方法**：利用者は専用アプリ「move!かすがいいタッチ」のダウンロードにより、「タッチ認証対象乗車券の購入」「タッチ認証対象乗車券による乗降車」が可能となります。なお、専用アプリのダウンロード後の初回登録特典として、「タッチ認証対象かすがいいシティバス 1 日乗車券」をプレゼントします(受け取りにはメールアドレスが必要です)。

＊専用アプリは、「NFC タグ認証機能」対応機種でご利用いただけます。また利用時には、位置情報の利用を許可していただく必要があります。専用アプリは無料でダウンロードできますが、通信費は利用者負担となります。

○**対象乗車券**：かすがいいシティバスの利用時には有効な乗車券(以下の7種)が必要となります。

- ①1 回乗車券(大人 200 円、小人 100 円) ②1 日乗車券(大人 450 円、小人 250 円)
- ③1 か月定期券「はあとふるパス」(大人 2,000 円、小人 1,000 円) ④回数券(100 円券×6 枚)
- ⑤～⑦【対象者限定】かすがいいシティバス ⑤1 回乗車券(100 円)、⑥1 日乗車券(250 円)、⑦1 か月定期券「はあとふるパス」(1,000 円)

＊⑤～⑦は次の対象者のみご利用いただけます。(利用の際はデジタルチケットの他、各カードの提示が必要となります。75 歳以上：高齢者カード、運転免許自主返納者：運転免許自主返納者カード、妊婦：マタニティカード)

○**商業連携**：タッチ認証によるバス乗車時に、「サンマルシェの特定施設で使える特典デジタルチケット」を受け取れます。以下の対象施設でご利用いただけます。

- ①アピタ高蔵寺店：100 円相当の品物引換 ②名鉄クリーニング高蔵寺店：100 円割引券
- ③ファゼンダ：100 円割引券 ＊利用方法の詳細はデジタルチケット券面にてご確認ください。

○**その他**：専用アプリのダウンロードは12月27日(水)に、google play、app store で公開の予定。

(2)モビリティポートによる移動利用促進及び MaaS アプリ連携

○**概要**：「モビリティポート」を、高蔵寺駅等の6か所に設置。2022年度に実施した乗合タクシー、電動シェアサイクルとのサービス連携に加え、新たに電動車いすの貸出を実施し、移動の利便性を

高めることでニュータウン居住に関する価値向上を図ります。また、バスの乗り場案内やルート検索の機能を追加し、路線バスの利便性向上を図ります。なお「モビリティポート」でのモビリティサービス利用時には、「モビリティポート」の画面に表示された商業施設利用クーポンを「CentX web チケット」で受け取ることが可能です。

○モビリティポート設置場所: JR 高蔵寺駅、ニュータウン内の商業施設・病院など合計 6 か所

○モビリティサービスの予約・貸出:

- ① オンデマンド乗合タクシー (高蔵寺駅を除く 5 か所)
- ② 電動シェアサイクル (アピタ館東口・グルッポふじとう・藤山台診療所横・高蔵寺駅)
- ③ 電動車いす (藤山台診療所横・高蔵寺駅)

* 各モビリティサービスは、交通系 IC カードによる認証で予約・貸出をしていただきます。

○商業連携: 各モビリティサービス利用時に、(1)と同じように、「サンマルシェの特定施設で使える特典デジタルチケット」を受け取ることができます。対象施設は(1)の商業連携の項目と同様。

○その他: バス乗り場案内・バスルート検索 (高蔵寺駅)、バス時刻表・防災メール (アピタ館東口)



モビリティポート設置場所(左)、モビリティポートに表示する画面イメージ(右)

(3)本実証実験における各社の役割

- 春日井市 : プロジェクト推進自治体、各種調整
- 名古屋大学未来社会創造機構 : 実験企画・調整
- UR : 団地内関係者調整
- 名古屋鉄道:MaaS アプリの提供
- DNP : モビリティポートの提供・NFCタグ活用支援
- IBS : 実施効果分析・検証・とりまとめ
- 未来シェア : オンデマンド乗合タクシーのシステム提供
- 高蔵寺センター : 商業施設テナント交渉・連携

(4)高蔵寺スマートシティ推進検討会について

自動運転等の新たなモビリティサービスと既存交通との「ベストミックス(モビリティ・ブレンド)」を模索

し、高蔵寺ニュータウンの地域特性に応じた適切なモビリティサービスを社会実装することで、「ニュータウン版 MaaS」を構築し、先進技術による快適なまちづくり「高蔵寺ニューモビリティタウン」を目指しています。

(5)今後の展開

高蔵寺スマートシティ推進検討会は、今回の実証実験の結果をもとに、オンデマンド乗合タクシー等の新交通システムと既存公共交通のスムーズな乗換や、公共交通の利用を促進するクーポン等を活用した商業施設との連携によるにぎわい創出など、新たな交通結節点のあり方や導入について検討を進めていきます。

※1 DNP モビリティポート → https://www.dnp.co.jp/news/detail/10160894_1587.html

※2 CentX web チケット → <https://www.meitetsu.co.jp/centx/info/>

※記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ】

○春日井市都市政策課交通企画担当

電話:0568-85-6051、電子メール:toshisei@city.kasugai.lg.jp

○国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学未来社会創造機構 金森 亮

電話:052-789-3565 FAX:052-789-5728 電子メール:kanamori.ryo@nagoya-u.jp

○大日本印刷株式会社 IR 広報本部広報室 野田

電話:080-2242-9220 電子メール:Noda-M4@mail.dnp.co.jp

以 上